

2017年2月11日版

【2017年度 京丹ブロック共同宣教司牧 長期・中期・短期計画】

京都南部地区京丹ブロック

1. 長期計画

地域に対して福音宣教をおこなって行く教会共同体となっていきましょう。

2013年度に制定された長期計画は、以下の二項目をこの地域の教会共同体の歩むべき方向性を示すものとして立案されています。

- ① 「信仰養成の観点から」 ② 「小教区適正配置の観点から」

本年度も引き続きこの長期計画を念頭に置きながら、京丹ブロックの教会共同体は、福音宣教者の集まりとして存在します。その実行計画として、今年度におこなう短期計画を新たに制定します。

以下に示すブロック基本方針に基づき、各小教区で具体的な活動計画を策定し実行していきます。

2. 中期計画

・長期計画の5年目に当たり、ブロック内各小教区のビジョンを持ち寄り、後半へ向けたプロジェクトチーム(仮称)を作るなどして、短期計画のPDCAを行ってブロックの動きを確認し、取り組みを継続・発展させていきます。

・また、追加項目として、教皇フランシスコの「回勅 ラウダート・シ」を基にして、インテグラル(総合的な)エコロジーを考え具体的に取り組んでいきます。

3. 短期計画

① 2017年・司教年頭書簡(主こそ、我が光へユスト高山右近にならう聖性への道のり)を受け、わたしたちの道しるべとして与えられた右近の「生きながらの殉教」を、ブロック共同体として心に留め合い・分かち合い・学び合います。

そして、主がわたしたちをご自分に引き寄せ、ご自分に似たものとして下さる賜物としての聖性をめざし、聖性に達する手段である「神のために隣人を大切にする愛」を、社会と教会の中で隣人との係わりを通して実践して行きます。

② 南部地区小教区適正配置の観点からも、京丹ブロックが一つの教区との認識を持ち、新たに二小教区交流ミサなども考え、ブロック合同ミサ、合同黙想会、合同部会など様々な機会や催しを通じて、ブロック内の信徒交流をより活性化したものとして推し進めて行きます。

③ 青少年の育成

- ・これからの教会を担う「京丹ブロック（KTB）中高生会」の活動を継続して支援していきます。
- ・次の世代のリーダーとなるべき青年たちの集まりを支援します。
- ・京丹ブロック内教会家族の一員である青年の声を取り込んだ活動で世代を越えた交流を行っていきます。
- ・教区主催の中高生会やアジアユースデー、広島巡礼等に参加する青少年たちを積極的にバックアップします。

④ 社会に奉仕する教会共同体

開かれた教会作りを実践するため、地域の人びとと交流を深めます。

- ・平和を求める活動：現在の世界情勢を意識して積極的に、世界平和へ祈りを行います。具体的には、「西山地区平和を作り出すキリストと市民集い」、宗教懇話会へ支援・積極的な参加を促します。
- ・従来から諸活動へ支援（福祉施設、学校施設、ホームレス、母子家庭子、依存症者自

助

グループ等）について、理解を深め交流していく機会を持ちます。

- ・独居世帯の方々に留意し、つながりを確認できるよう工夫し、実践に取り組みます。

⑤ 環境に対する取り組み

教皇フランシスコの「回勅 ラウダート・シ」のインテグラルエコロジーの中で特に神の作られた地球環境を守るために、地球環境保護に対する勉強会等を行い、具体的な実践活動に取り組んでいきます。

- 1) 環境保護のため、特にごみ問題の勉強会を行います。

- ㊦ 生ごみの削減
- ㊧ ごみ分別の徹底による再資源化
- ㊨ 使い捨て品の削減
- ㊩ エネルギーの節約等

- 2) 小教区別の環境保護の日を設け上記項目について実践していきます。